

## 04 ディスカッション

プレゼンテーションと並んで、演習のもう一つの柱となるのがディスカッションです。ディスカッションの目的は、他の人の考え方や感じ方を知るとともに、議論の中で論理の矛盾や論証の不足などを指摘しあい、研究の質を高めることにあります。人からよいアイデアをもらうことで、研究が飛躍的に発展することもあります。

演習でのディスカッションで大切なことは、論拠を明確にし、正しいことは正しい、間違っていることは間違っていると、他の人が判断できるような議論をすることにあります。これをオーストリア出身の哲学者カール・ポパーは「反証可能性」(falsifiability)と呼んでいます。

たとえば、「最近、犯罪が多い」というのは、事実を述べたことにはなりません。なぜなら「多い」と感じるかどうかは個人的な感覚に過ぎないからです。一方、これを「最近、犯罪が増加している」といえば、反証が可能となり、議論が成立します。演習の中に犯罪統計に詳しい人がいれば、「あなたの意見は間違っています。平成26年版の『犯罪白書』によれば、刑法犯の検挙人員は平成16年の128万9,416人をピークに減少し続け、25年は88万4,540人と、約31%も減少しています」と、きつこう反論するでしょう。

こうしたルールを守って議論することで、ディスカッションはより生産的なものとなるはずです。

## グループ学習に最適な学内施設を活用しよう！

ゼミでの発表の準備や、プレゼンテーション資料の作成など、授業時間以外にグループでディスカッションをする場として、「ピア・ラーニング・スペース」や各キャンパスの「ラーニングコモンズ」を活用しましょう。

LAN環境はもちろん、自由にレイアウトできる可動式の机やホワイトボード、プロジェクター、スクリーン、大型モニターなども用意されたグループ学習のためのオープンスペースです。仲間との自由なディスカッションで、教室での学習とは、またひとあじ違った、良いアイデアがたくさんできるかもしれません。どのキャンパスの学生も利用可能です。

## 01 ラーニングコモンズ

各キャンパスの図書館には、「ラーニングコモンズ」を設置しています。図書館内でありながら、周囲の迷惑にならない範囲で学習目的の会話が可能な「ラーニングコモンズ」は、人気のスペースとなっています。小金井図書館は2015年にオープンしたばかりです。市ヶ谷図書館と多摩図書館には、グループ学習室もあります。さらには、多摩図書館の一部には、リラックスした雰囲気なかで、ノートパソコンを持ち込んで学習できる環境を整えた「クリエイティブルーム」も設置しています。各キャンパスとも、人数・目的に応じて施設を選べる「学問したくなる図書館」となっていますので、在学中にどんどん利用をしてください。

## グループワーク・エリア

大型モニターやホワイトボード、模造紙や付箋等の消耗品類などグループワークに必要なものが自由に利用できます。また、ノートパソコンの貸出やオンデマンドプリンターも設置されています。机も自由にレイアウトできますので、自由な発想で利用してみてください。

## ワークショップ・エリア

ガラスパーテーションで区切られた三つの部屋があります。ゼミの打ち合わせなど、じっくり取り組みたい時に最適です。各部屋は、予約制となっておりますのでカウンターにて予約してください。なお、空いているときはカウンターに申し出れば当日利用もできます。予約は、90分単位で1週間前から受付可能です。

## AVライブラリーエリア

語学教材や、新旧名作映画など14,000を超えるソフトが視聴できます。

